

環境省事業の仕分けの結果

		22年度要求額 (百万円)	結果
地球温暖化対策関係			
1	温暖化防止国民運動推進事業(エネ特等)		
	(1)	地球温暖化防止活動推進センター等基盤形成事業費(エネ特)	878 廃止
	(2)	温暖化対策「一村一品・知恵の環づくり」事業(エネ特)	300 廃止
	(3)	「CO2削減アクション推進事業(チャレンジ25国民運動関連事業費)」(エネ特)	502 予算要求の縮減(半額)
	(4)	温暖化影響情報集約型CO2削減行動促進事業	100 要求通り
2	エコポイント等CO2削減のための環境行動促進モデル事業(エネ特)等		
	(1)	エコポイント等CO削減のための環境行動促進モデル事業(エネ特)	360 モデル事業終了後の展望が明確にならなければ廃止
	(2)	エコポイント等CO2削減のための環境行動促進事業連携経費	380 廃止
3	環境金融普及促進事業		196 廃止
4	民間企業等に対する導入等補助事業等(エネ特)		
	(1)	国内排出量取引推進事業のうち「温室効果ガスの自主削減目標設定に係る設備補助事業」(エネ特)	2,200 予算計上見送り
	(2)	廃棄物処理施設における温暖化対策事業(エネ特)	1,800 予算要求の縮減(△30~40%)
	(3)	エコ燃料利用促進補助事業(エネ特)	450 要求通り
	(4)	地方公共団体対策技術率先導入補助事業(エネ特)	900 廃止
5	モデル実証等事業		
	(1)	エコ燃料実用化地域システム実証事業(エネ特)	2,800 重点化を図ることにより予算要求を縮減する
	(2)	クールシティ中枢街区パイロット事業(エネ特)	700 廃止
	(3)	EST、モビリティ・マネジメント(MM)による環境に優しい交通の推進(エネ特)	135 廃止
廃棄物リサイクル関係			
	循環型社会形成推進交付金		47,679 予算要求の縮減(△10%程度)
生物多様性保全関係			
	生物多様性の保全等の推進に必要な経費		
(1)	生物多様性条約拠出金のうち「生物多様性日本基金(仮称)の創設」		1,000 要求通り
(2)	地球規模生物多様性モニタリング推進事業費		500 要求通り
(3)	自然環境保全基礎調査費		400 予算要求の縮減(△1/3程度)
(4)	生物多様性国民運動関連事業費		115 予算要求の縮減(半額)
子どもの健康と環境			
	子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)		3,403 要求通り
国際的な研究機関への拠出金			
(1)	地球環境戦略研究機関拠出金		550 予算要求の縮減
(2)	国連大学拠出金(持続可能な開発のための教育10年構想事業)		155 要求通り
(5)	国連大学拠出金(国際SATOYAMAイニシアティブ)		150 要求通り